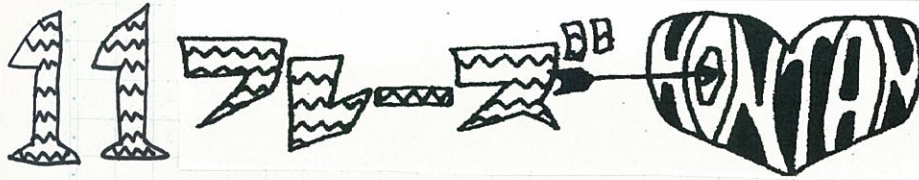


HONTAN

図書館ボランティア「本探」が
同の図書館情報をお知らせします☺

今年もよろしく
お原真いします!!

2014年12月号
(第44号)



今月のフリーズテーマは
「くっ!! とくる
名(迷?)言」

あんの
オスX ● 9/32/7/17 スポンサー・ジョージン
00000000 ● 『チーズはジンヘラ消え?』
「チーズと一糸者に前進し。
それを楽しもう!!」
意味が気になる人は、ぜひ読んでみてください。

伊之上の
オスX ● 9/3.6/14 東野圭吾
00000000 ● 『カッレオの苦小僧』
「アイデアがあるなら試せばいい。
価値のない実験なんがない」
自分でやりたいと思っ、やりたことを
自分でやると、もっと健康になれる。

鏡の
オスX ● 9/3.6/14 夏目漱石
00000000 ● 『こころ』
「精神目的に向上心の
ないものは馬鹿だ。」
残酷な一言。なんだかいいに刺さる。

まいの
オスX ● 9/13.6/14-2 加藤実秋
00000000 ● 『スピーズ:事件現場排除人』
「うん。いい人。犬好きだし」
犬をこよなく愛する社長の
自信と説得がたっぴりの一言。

七海の
オスX ● 9/13.6/14 三崎亜記
00000000 ● 『となり町戦争』
「つまり、ある意味戦争は
世界の日常なんぞだね」
日本に住んでいると実感できない言葉。

かなづちの
オスX ● 9/13.6/14 三島有紀子
00000000 ● 『しあわせのパン(文庫)』
「もがいたことのある人間じゃないと、
幸せはないと思うんです」
だからもがいて生きてみませんか?

スモの
オスX ● 9/13.6/14 伊坂幸太郎
00000000 ● 『重バヒエロ』
「『自分で考えろ!』ってな。
どうい声をしたんだ」
困ったときの神頼み。
返ってきたのは怒鳴り声。

ハルの
オスX ● 9/13.6/14 杉本一穂
00000000 ● 『少女七瀬と七人の可愛きおなま』
「母をゆるさないことだけが、
わたしの純情です」
もう私たちは一緒にいられない

カノの
オスX ● 9/13.6/14 伊坂幸太郎
00000000 ● 『モダンタイムス』
「人はいつだって得意なやり方で
世の中とぶつかっていく(まが)ない」
自分のやり方を確立する必要がある。

鶏の
オスX ● 9/13.6/14 東野圭吾
00000000 ● 『フラッシュデータ』
「そう、最後だ。それを描いたら、
俺はもう消える…」
もう一人のために消えることを選ぶ

きょうの
オスX ● 9/14.6/14 穂村弘
00000000 ● 『絶対委員会(文庫)』
『2F嬢教書/5くま文庫』
「やめろ。みんな死ぬ。」
ビリゾールに水泳大会。
みんなのあたまにいまはざし。つらい。

「ナイトXア- ビフォア
クリスマス」
778.721N



これを読むのは1月頃だと思いますが、今回紹介する日映画は「ハロウィン」に関するお話です。季節としてはクリスマスです。なんだか色が混ぜています。
この話の内容は、ハロウィンタウンの王様が、クリスマスに華を飾るサンタさんにあこがれるというものです。ハロウィンとクリスマスが合体したものです。ハロウィンタウンの王様が、クリスマスをやろうとすると思うんですが、それは見てからの楽しみです。
ティム・バートン監督のちよと昔に作られたアニメ日映画です。しかし、このアニメの技術レベルはとて高いです。実写で不思議な世界を作り出すことのできる監督が、アニメでも不思議な世



『流星が消えないうちに』 9/3.6/14 橋本 紡

忘れない、忘れない。あの笑顔も。糸香に過ぎた時間の輝きも。そして、流星にかけた願いも。不慮の事故で恋人の加地と永遠に引き離された奈糸香子に、加地の友人で「彼」と彼女を糸香につけるキーポイント役

であった巧が、その手を差し伸べる。

この本は、奈糸香子と巧のそれぞれの視点で、加地との出会いも思い出、そしてセクシーな後の今の生活が描かれ、二にどっちがどっちに大切だったかが伝わってきます。加地がいた頃の悲しみ、加地がいた頃のまがしいほどに輝く思い出が少なく、けれど優しく丁寧に描かれています。忘れない、ずっとそばにいたまま戻しておきたいと思う気持ち、時間の流れによって少しずつ色あせていく、それは生きて帯糸香子を知るためにこぼれ落ちたこと。そう思った悲しみも全て抱いて前に進むうとする奈糸香子と、奈糸香子の中にある加地と、奈糸香子と共に歩もうとする巧。その二人の変化に、読んでいて温かい気持ちになれます。

何かが拍子でつまづき、立ち止まってしまう方もいると思います。この本は、前に踏み出すきっかけを与えてくれるような一冊だと思っています。

<ハレ>

『ダダインチ』 1月号

本好きの人にはぴったりの情報雑誌。1月号には、2013年のブックランキングが載っています。小説だけでなく、コミックランキング、文庫やエッセイ、実用書のランキングもあります。それぞれの本の内容、読者のコメントもついているので、読みたい本が見つかるかもしれません！表紙の岡田准一さんを始め、大泉洋さん、鈴木京香さん、作家の有川浩さん、櫻木紫乃さんなどのインタビューもついています。芸能人の方が、本についてこんなにしっかりと語っているのはなかなかないので、おもしろいと思います。また、文章ばかりではなく、1月号には別冊として、コミックエッセイもついています！『ダーリンは外国人』の小栗左多里さん、『うちの3姉妹』の松本ふたつさんなど、執筆陣も豪華なので、ぜひご覧ください！



<麻子>



『図解戦国武将』 2/10.47/1 池上良太

今年の大河ドラマ『軍師官兵衛』の放送にあやかり、今回は戦国時代に関する本を紹介したいと思っています。現在、戦国時代を題材にした小説やゲーム、漫画などの多くの商品が発売されており、一時は「歴史ゲーム」なんてよばれていました。私も中学や高校の日本史の授業では、戦国時代の単元にはよく集中して先生の話を聞いていました(笑)

そんなときに、ふと、戦国時代では武士や農民はどのような生活を送っていたのか気になりますよね？今回紹介する『図解戦国武将』は、そんな疑問を解決してくれます。題名に『戦国武将』とありますが、武将の紹介だけでなく、武将のお仕事や生活を紹介します。足軽のやりかたは、武将はどのような日々を送っているのか、また、武将の恋愛事情など、教科書には知りることができない、武将の実態を知ることができます。もちろん、教科書にのっていた合戦についても、わかりやすく解説しています。

戦国時代が好きな方はもちろん、あと日本史に興味があった人にも、おススメの一冊です。みなさんも、武将の生活をのぞいてみませんか。

<かたづち>

帯展示

今回の帯展示のテーマは、「白銀の雪景色」です。冬が深くなって雪が多く降り時期になりました。雪をイメージして白と銀の帯を集めました。そして、冬には欠かせない手袋や帽子、お餅、雪だるまをモチーフにしました。ファンタジーものや小柄い語を集めましたので、ぜひ、手にとって読んでみてください。

HONTAN 展示してみました

今回の学生展示のテーマは、「百年文庫 冬・雪」です。今回は、百年文庫の中から4冊、その他にも、同じテーマで7冊選がました。

家に居る時間が長くなるこの時期に、身近な冬・雪についてを知ってほしいかどうでしょうか？ あなたの知らないものが見つかるかも？

学生展示